

平成24年度 第一回 田辺市文化財審議会 議事録

日時:平成24年7月30日(月)午前10時00分～午後0時30分

場所:田辺市民総合センター 4階 交流ホール

出席者:委員 21名

欠席者:吹揚委員

事務局 輪玉文化振興課長

文化財係 中川係長 児玉企画員 西村主査 堀主査 中平事務員

1. 開会

2. 教育委員会あいさつ(輪玉課長)

異動による新職員の紹介(輪玉康弘課長、中平健一事務員)

委員の過半数が出席していることにより、会議の成立を宣言。

3. 報告

①平成23年度 事業報告

意見 昨年の台風12号・15号での被災後、熊野参詣道の復旧に向けての作業の中で、景観保全審議会はどのように対応してきたのか。また、最近の「文化的景観」の概念の変容に対して、対応するような動きはあるのか。更に、文化財審議会としても、これらの問題について提言をする必要性はないか。

回答 災害時の対応については、文化庁の技官等が視察に来ており、景観保全審議会として具体的な対応を取ることはありませんでした。

意見 文化財審議会としての対応は、世界遺産小委員会で検討を加えれば良いのでは。

意見 田辺の歴史民俗資料館の開館に向けての作業はどうなっているのか。

回答 現在、11月の開館に向けて、展示についてコンペ方式で提出された業者の企画を歴史民俗資料館運営委員を加えた選考委員会が選考したところです。今後、決定した業者の企画について各委員からご意見をいただきたいと思います。

意見 歴史民俗資料館運営委員も小委員会制の一環なので、責任者を決めていきたい。「田辺市文化財」誌編集委員会、神島調査委員会も同様に責任者を定めることとしたい。これらの小委員会を充実させることによって、文化財審議会の機能を高めることができると考える。

→資料館運営委員会に湯川・鈴木両委員、世界遺産小委員会に山本委員が加わることを決定。審議終了後、小委員会ごとに集まって責任者を定めることとする。

意見 オオダイガハラサンショウウオの指定について、経過報告をお願いする。

回答 種指定か、生息地指定かの選択肢で問題が止まっています。種指定は、和歌山県文化財保護条例と、これを参考としている田辺市文化財保護条例では現行のままでは不可能です。生息地指定は、土地所有者の許可が必要になりますが、今回の指定候補地である黒蔵谷は国有地で、林野庁との協議が進捗していません。

意見 市有地である笠塔山ならば可能なのでは。

回答 その場合、新たに調査報告をしていただく必要があります。

②平成24年度 事業計画

意見 神島の調査について現状を報告すると、カワウを防ぐためのテグス張りの重りを鉛から鉄へ変えたり、テグスを張る範囲を新庄漁業協同組合から指摘を受けて改めたりしている。質問の一つめ、神島の「清掃」と事業に挙がって、予算がついているが、これは何か。二つめ、「南方熊楠歌碑及び国指定記念碑」の修復の予定について、聞かせて欲しい。

回答 一つめは、神島に渡るための渡船の費用を教育委員会が負担しているので、ここで挙げています。二つめ、秋、それも遅くなってからの予定です。

意見 オオウナギの生息地環境調査について、その規模、手順などを教えて欲しい。

回答 富田川の田辺市域部分で、環境調査会社への委託をする予定です。上富田町と比しても、その規模は妥当と考えています。

○小委員会の代表者を決定

「田辺市文化財」誌編集委員一田所委員が委員長、桑原委員が副委員長
神島調査委員一玉井委員が委員長

4. 閉 会